

景況感、4期ぶりに悪化も来期は改善の見通し

香川県内企業経営動向調査（平成29年3月実施）

概要

今期(平成29年1～3月期)の業況判断指数(BSI)は、△24.5となり、前期(平成28年10～12月期)実績の△9.3から15.2ポイント低下した。前年同期(28年1～3月期)実績の△26.3に対しては1.8ポイント上回る水準である。項目別の判断指数をみると、全9項目のうち、前期と比較して上昇した指数は、銀行借入、設備投資の2項目。低下した指数は、受注高、生産高、売上高、在庫高、資金繰り、雇用、採算の7項目である。

来期(平成29年4～6月期)の業況判断指数(BSI)の見通しは、△14.5となり、今期(29年1～3月期)実績の△24.5から10.0ポイント上昇する見通しである。前年同期(28年4～6月期)実績の△20.6に対しては6.1ポイント上回る水準である。項目別の判断指数をみると、受注高、生産高、売上高、在庫高、資金繰り、銀行借入、設備投資、雇用、採算の全9項目全てで、今期と比較して指数が上昇する見通しとなっている。

概況 今期の香川県内企業の業況判断指数(BSI)は、季節的な需要の減少に加え、原材料価格や人件費等コストの上昇を背景に、4期ぶりに低下した。来期は、季節的な需要の増加などを背景に、製造業、非製造業とも、指数は再び上昇に転じる見通しとなっている。

期	平成27年		平成28年		前期	今期	来期	
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	10～12月	平成29年 1～3月	4～6月	
製造業	(△ 5.3)	(2.6)	(△ 25.6)	(△ 15.0)	(△ 9.8)	(△ 5.1)	(△ 20.0)	(△ 20.5)
	△ 15.8	△ 1.2	△ 36.3	△ 25.6	△ 14.1	△ 7.5	△ 30.1	
非製造業	(2.6)	(△ 4.8)	(△ 15.0)	(△ 12.5)	(△ 12.8)	(△ 4.8)	(△ 18.5)	(△ 7.9)
	△ 6.0	△ 5.0	△ 16.3	△ 15.4	△ 9.6	△ 11.1	△ 18.4	
全産業	(△ 1.3)	(△ 1.3)	(△ 20.4)	(△ 13.8)	(△ 11.3)	(△ 5.0)	(△ 19.3)	(△ 14.5)
	△ 10.7	△ 3.1	△ 26.3	△ 20.6	△ 11.8	△ 9.3	△ 24.5	
前年同期比(差異)	7.4	7.2	△ 6.8	△ 5.6	△ 1.1	△ 6.2	1.8	(6.1)

B S I : Business Survey Index の略で、企業動向の現状と先行き見通しに対する企業経営者の判断を数字で表したものの。次の算式により求める。

$B S I = X - Y$ X : 「好転 (増加)」と回答した企業の割合 (百分率)

Y : 「悪化 (減少)」と回答した企業の割合 (百分率)

※回答は、①好転 (増加)、②不変、③悪化 (減少) から1つ選択

(注)本文中、時期の略記は、それぞれ次の期間を表す。

・前期 : 平成28年10～12月、今期 : 平成29年1～3月、来期 : 平成29年4～6月

・Ⅰ期 : 1～3月、Ⅱ期 : 4～6月、Ⅲ期 : 7～9月、Ⅳ期 : 10～12月

I. 項目別 BSI

1. 業界業況判断 BSI

4 期ぶりに低下も、来期は上昇の見通し。

<今期実績(平成 29 年 1~3 月期)>

今期の業界業況判断 BSI は、 $\Delta 24.5$ で、前期 (28 年 10~12 月期) 実績の $\Delta 9.3$ から 15.2 ポイント低下した。指数の低下は 4 期ぶりである。前年同期 (28 年 1~3 月期) 実績の $\Delta 26.3$ に対しては 1.8 ポイント上回る水準である。

産業別では製造業が $\Delta 30.1$ となり、前期実績の $\Delta 7.5$ から 22.6 ポイントの低下。製造業全 8 業種のうち、食料品、繊維製品、木材・木製品、機械器具、その他製造業の 5 業種で指数が低下した。

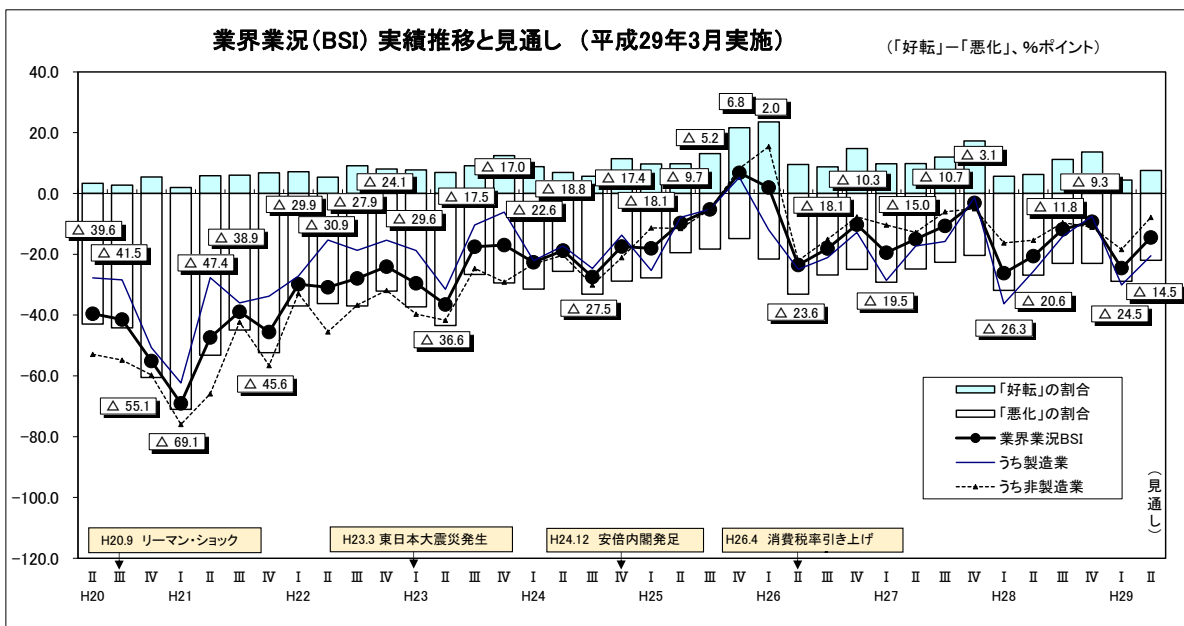
非製造業は $\Delta 18.4$ となり、前期実績の $\Delta 11.1$ から 7.3 ポイント低下した。非製造業全 5 業種のうち、卸売業、小売業、運輸業、サービス業その他の 4 業種で指数が低下した。

<来期見通し(平成 29 年 4~6 月期)>

来期の業界業況判断見通し BSI は、 $\Delta 14.5$ で、今期 (29 年 1~3 月期) 実績の $\Delta 24.5$ より 10.0 ポイント上昇した。前年同期 (28 年 4~6 月期) 実績の $\Delta 20.6$ に対しては 6.1 ポイント上回る見通しである。

産業別では製造業が $\Delta 20.5$ となり、今期実績の $\Delta 30.1$ から 9.6 ポイントの上昇。製造業全 8 業種のうち、食料品、繊維製品、機械器具の 3 業種で指数が上昇の見通しである。

非製造業は $\Delta 7.9$ となり、今期実績の $\Delta 18.4$ から 10.5 ポイント上昇し、非製造業全 5 業種のうち、卸売業、小売業、サービス業その他の 3 業種で指数が上昇する見通しである。



■業界業況判断指数（各期比較）

業種	実績値					増減			
	今期の前年同期 (H28.1-3月)	末期の前年同期 (H28.4-6月)	前期 (H28.10-12月)	今期 (H29.1-3月)	来期 (H29.4-6月)	今期(H29.1-3月)		来期(H29.4-6月)	
	①	②	③	④	⑤	前期比 ④-③	前年同期比 ④-①	今期比 ⑤-④	前年同期比 ⑤-②
製造業	△ 36.3	△ 25.6	△ 7.5	△ 30.1	△ 20.5	△ 22.6	6.2	9.6	5.1
食料品	△ 50.0	0.0	5.6	△ 47.1	△ 11.8	△ 52.7	2.9	35.3	△ 11.8
繊維製品	△ 66.7	△ 50.0	△ 25.0	△ 63.6	△ 36.4	△ 38.6	3.1	27.2	13.6
木材・木製品	△ 42.9	△ 42.9	0.0	△ 42.9	△ 42.9	△ 42.9	0.0	0.0	0.0
化学工業・石油製品	△ 14.3	△ 28.6	△ 16.7	0.0	0.0	16.7	14.3	0.0	28.6
金属製品	△ 20.0	△ 50.0	△ 30.0	0.0	△ 10.0	30.0	20.0	△ 10.0	40.0
機械器具	△ 8.3	0.0	△ 16.7	△ 18.2	△ 9.1	△ 1.5	△ 9.9	9.1	△ 9.1
輸送用機械器具	△ 60.0	△ 20.0	△ 20.0	△ 20.0	△ 40.0	0.0	40.0	△ 20.0	△ 20.0
その他	△ 35.7	△ 35.3	14.3	△ 25.0	△ 25.0	△ 39.3	10.7	0.0	10.3
非製造業	△ 16.3	△ 15.4	△ 11.1	△ 18.4	△ 7.9	△ 7.3	△ 2.1	10.5	7.5
建設業	21.4	△ 7.1	△ 7.1	14.3	0.0	21.4	△ 7.1	△ 14.3	7.1
卸売業	△ 5.9	△ 23.5	△ 17.6	△ 22.2	△ 11.1	△ 4.6	△ 16.3	11.1	12.4
小売業	△ 33.3	△ 16.7	△ 9.1	△ 16.7	△ 5.6	△ 7.6	16.6	11.1	11.1
運輸業	△ 30.0	△ 33.3	△ 25.0	△ 50.0	△ 50.0	△ 25.0	△ 20.0	0.0	△ 16.7
サービス業 その他	△ 27.8	△ 5.0	△ 5.0	△ 27.8	5.6	△ 22.8	0.0	33.4	10.6
合計	△ 26.3	△ 20.6	△ 9.3	△ 24.5	△ 14.5	△ 15.2	1.8	10.0	6.1

2. 受注高判断 BSI

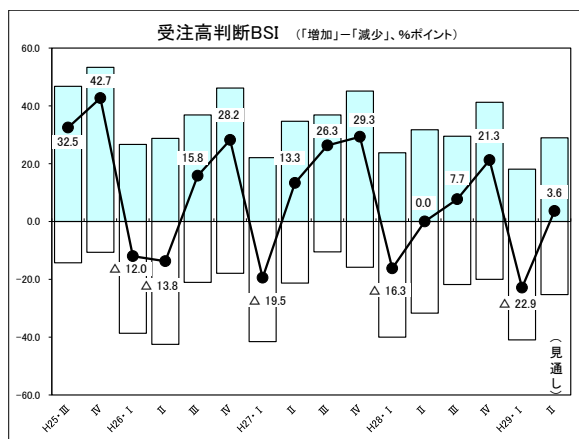
4期ぶりに低下も、来期は上昇の見通し。

＜今期実績(平成29年1～3月期)＞

今期の受注高 BSI は、△22.9 で、前期実績の 21.3 を 44.2 ポイント下回った。前年同期実績の△16.3 に対しては 6.6 ポイント下回る水準である。

＜来期見通し(平成29年4～6月期)＞

来期の受注高見通し BSI は、3.6 で、今期実績の△22.9 から 26.5 ポイント上昇の見通しで、前年同期実績の 0.0 に対しては 3.6 ポイント上回る水準である。



業種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	△ 44.2	△ 6.6	26.5	3.6
食料品	△ 80.4	△ 3.3	94.2	3.3
繊維製品	12.5	22.2	△ 9.1	△ 21.6
木材・木製品	△ 85.7	0.0	△ 14.3	△ 28.6
化学工業・石油製品	△ 16.6	△ 19.0	50.0	△ 26.2
金属製品	△ 10.0	0.0	△ 30.0	30.0
機械器具	△ 44.0	△ 44.0	27.3	16.7
輸送用機械器具	20.0	20.0	20.0	0.0
その他	△ 75.0	△ 10.7	25.0	17.6
合計	△ 44.2	△ 6.6	26.5	3.6

(注)非製造業は調査対象外

3. 生産高判断 BSI

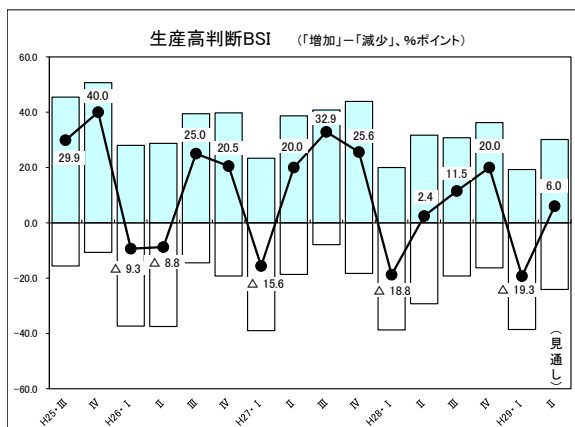
4期ぶりに低下も、来期は上昇の見通し。

＜今期実績(平成29年1～3月期)＞

今期の生産高 BSI は、 $\Delta 19.3$ で、前期実績の 20.0 を 39.3 ポイント下回った。前年同期実績の $\Delta 18.8$ に対しては 0.5 ポイント下回る水準である。

＜来期見通し(平成29年4～6月期)＞

来期の生産高見通し BSI は、6.0 で今期実績の $\Delta 19.3$ を 25.3 ポイント上回る見通しである。



業種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	$\Delta 39.3$	$\Delta 0.5$	25.3	3.6
食料品	$\Delta 97.7$	$\Delta 2.5$	111.7	15.4
繊維製品	15.9	46.5	18.2	21.6
木材・木製品	$\Delta 71.4$	0.0	0.0	$\Delta 57.2$
化学工業・石油製品	$\Delta 33.3$	$\Delta 4.7$	66.6	$\Delta 9.6$
金属製品	$\Delta 20.0$	10.0	$\Delta 40.0$	10.0
機械器具	18.2	$\Delta 15.1$	$\Delta 36.4$	$\Delta 9.9$
輸送用機械器具	0.0	20.0	20.0	20.0
その他	$\Delta 61.7$	$\Delta 25.9$	18.8	11.8
合計	$\Delta 39.3$	$\Delta 0.5$	25.3	3.6

(注)非製造業は調査対象外

【売上高の増加・減少要因】

「売上高増加要因」の1位は「季節的な需要増加」の69.0%、次いで「販売力の強化」の9.5%、「生産能力の向上」、「景気動向」、「その他」の7.1%となっている。「減少要因」の1位は「季節的な需要減少」の69.7%、次いで「景気動向」の13.6%、「販売力の低下」の7.6%、「生産能力の低下」、「その他」の4.5%となっている。

4. 売上高判断 BSI

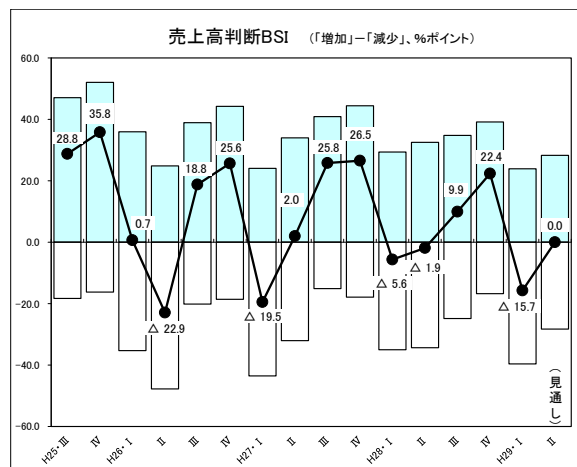
4期ぶりに低下も、来期は上昇の見通し。

＜今期実績(平成29年1～3月期)＞

今期の売上高 BSI は、製造業 $\Delta 25.3$ 、非製造業 $\Delta 5.3$ 、全産業で $\Delta 15.7$ となり、前期実績を 38.1 ポイント下回った。前年同期実績に対しては 10.1 ポイント下回る水準である。

＜来期見通し(平成29年4～6月期)＞

来期の売上高見通し BSI は、製造業 3.6、非製造業 $\Delta 3.9$ 、全産業で 0.0 となり、今期実績の $\Delta 15.7$ を 15.7 ポイント上回り、指数自体も2期ぶりにマイナス圏を脱する見通しである。



業種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	$\Delta 56.6$	$\Delta 12.8$	28.9	3.6
食料品	$\Delta 109.1$	$\Delta 14.7$	117.6	2.9
繊維製品	$\Delta 73.9$	$\Delta 3.1$	18.2	$\Delta 30.7$
木材・木製品	$\Delta 114.3$	$\Delta 14.3$	14.3	0.0
化学工業・石油製品	$\Delta 16.6$	$\Delta 19.0$	66.6	$\Delta 9.6$
金属製品	$\Delta 10.0$	10.0	$\Delta 40.0$	20.0
機械器具	9.9	$\Delta 15.1$	$\Delta 36.4$	6.8
輸送用機械器具	0.0	$\Delta 20.0$	20.0	0.0
その他	$\Delta 75.0$	$\Delta 17.9$	25.0	17.6
非製造業	$\Delta 18.9$	$\Delta 6.6$	1.4	$\Delta 0.1$
建設業	42.8	$\Delta 21.4$	$\Delta 64.3$	$\Delta 7.2$
卸売業	$\Delta 33.7$	$\Delta 16.0$	38.9	28.7
小売業	$\Delta 31.8$	19.0	$\Delta 11.1$	$\Delta 11.1$
運輸業	$\Delta 50.0$	$\Delta 35.0$	0.0	8.3
サービス業 その他	$\Delta 21.1$	0.0	27.8	$\Delta 13.3$
合計	$\Delta 38.1$	$\Delta 10.1$	15.7	1.9

5. 在庫高判断 BSI

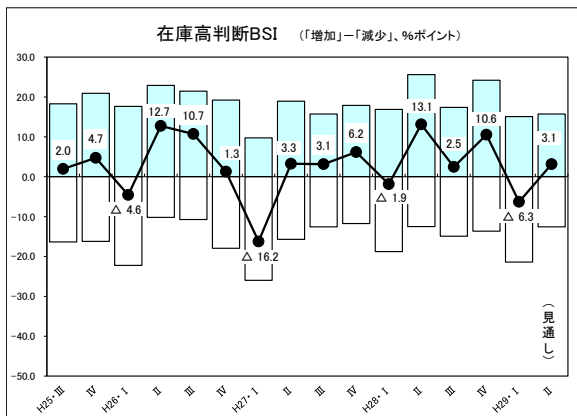
2期ぶりに低下も、来期は上昇の見通し。

＜今期実績(平成 29 年 1～3 月期)＞

今期の在庫高 BSI は、製造業が△7.2、非製造業が△5.3、全産業では△6.3 となり、前期実績の 10.6 を 16.9 ポイント下回った。前年同期実績の△1.9 に対しては、4.4 ポイント下回る水準である。

＜来期見通し(平成 29 年 4～6 月期)＞

来期の在庫高見通し BSI は、製造業が 2.4、非製造業が 3.9、全産業では 3.1 となり、今期実績の△6.3 を 9.4 ポイント上回り、指数自体も 2 期ぶりのプラス指数となる見通しである。



6. 資金繰り判断 BSI

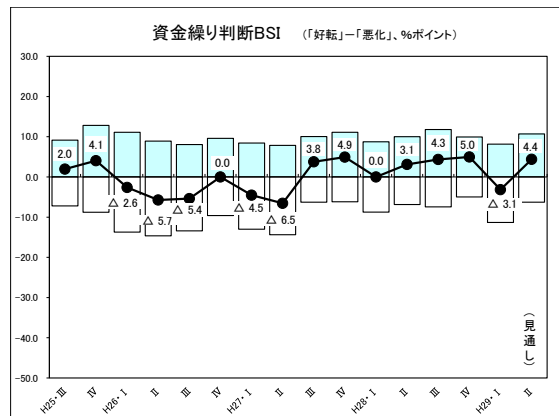
4期ぶりに低下も、来期は上昇の見通し。

＜今期実績(平成 29 年 1～3 月期)＞

今期の資金繰り BSI は、製造業が△8.4、非製造業が 2.6、全産業では△3.1 となり、前期実績の 5.0 を 8.1 ポイント下回った。前年同期実績の 0.0 に対しては、3.1 ポイント下回る水準である。

＜来期見通し(平成 29 年 4～6 月期)＞

来期の資金繰り見通し BSI は、製造業が 4.8、非製造業が 3.9、全産業では 4.4 となり、今期実績の△3.1 を 7.5 ポイント上回り、指数自体も 2 期ぶりのプラス指数となる見通しである。



業種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	△ 14.7	△ 16.0	9.6	△ 19.6
食料品	△ 12.0	△ 48.9	47.0	△ 1.9
繊維製品	28.4	△ 9.1	27.3	△ 44.3
木材・木製品	△ 28.6	△ 14.3	0.0	△ 28.6
化学工業・石油製品	△ 33.3	0.0	△ 16.7	△ 16.7
金属製品	10.0	△ 50.0	10.0	△ 30.0
機械器具	△ 34.9	15.1	27.3	9.1
輸送用機械器具	20.0	0.0	△ 40.0	△ 40.0
その他	△ 42.9	0.0	△ 25.0	△ 36.8
非製造業	△ 18.9	7.2	9.2	0.1
建設業	△ 21.4	△ 21.4	21.4	14.2
卸売業	△ 40.2	12.7	44.5	21.9
小売業	△ 1.5	31.0	△ 38.9	△ 38.9
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス業 その他	△ 21.1	5.6	16.7	5.6
合計	△ 16.9	△ 4.4	9.4	△ 10.0

業種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	△ 13.4	△ 7.1	13.2	2.4
食料品	△ 34.0	△ 11.8	23.6	11.8
繊維製品	△ 21.6	△ 9.1	0.0	△ 9.1
木材・木製品	△ 57.2	0.0	71.5	42.9
化学工業・石油製品	33.4	16.7	△ 16.7	0.0
金属製品	30.0	0.0	△ 20.0	0.0
機械器具	△ 26.5	△ 18.2	36.4	9.9
輸送用機械器具	△ 20.0	△ 60.0	40.0	△ 20.0
その他	0.0	7.1	△ 6.3	△ 12.2
非製造業	△ 2.3	1.3	1.3	0.1
建設業	0.0	14.2	14.3	21.4
卸売業	5.2	△ 6.5	△ 16.7	△ 23.2
小売業	1.1	△ 3.9	0.0	5.6
運輸業	12.5	0.0	△ 25.0	△ 13.9
サービス業 その他	△ 21.1	5.6	22.2	6.1
合計	△ 8.1	△ 3.1	7.5	1.3

7. 銀行借入判断 BSI

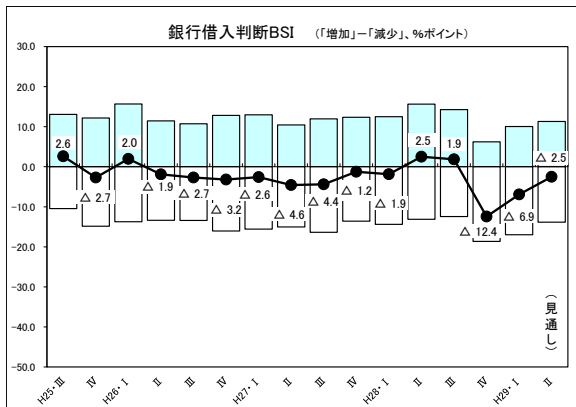
3 期ぶりに上昇し、来期も上昇の見通し。

＜今期実績(平成 29 年 1～3 月期)＞

今期の銀行借入 BSI は、製造業が△12.0、非製造業が△1.3、全産業では△6.9 となり、前期実績の△12.4 を 5.5 ポイント上回った。前年同期実績の△1.9 に対しては 5.0 ポイント下回る水準である。

＜来期見通し(平成 29 年 4～6 月期)＞

来期の銀行借入の見通し BSI は、製造業が 0.0、非製造業が△5.3、全産業では△2.5 となり、今期実績の△6.9 を 4.4 ポイント上回るも、指数自体は 3 期連続のマイナス指数となる見通しである。



業種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	4.3	△13.3	12.0	△11.0
食料品	△6.5	△17.6	23.5	△12.9
繊維製品	△11.4	△36.4	72.8	11.4
木材・木製品	28.6	△28.6	△42.8	△57.1
化学工業・石油製品	△16.7	△16.7	16.7	14.3
金属製品	10.0	10.0	△20.0	△20.0
機械器具	15.9	△17.4	△9.1	△1.5
輸送用機械器具	20.0	40.0	△20.0	△20.0
その他	8.0	△13.4	25.1	△16.5
非製造業	7.3	3.7	△4.0	1.1
建設業	7.2	△7.1	△21.4	7.2
卸売業	6.2	0.3	11.2	5.6
小売業	28.3	10.4	△16.7	△11.1
運輸業	△37.5	5.0	37.5	23.6
サービス業 その他	4.4	5.5	△11.1	△6.7
合計	5.5	△5.0	4.4	△5.0

8. 設備投資判断 BSI

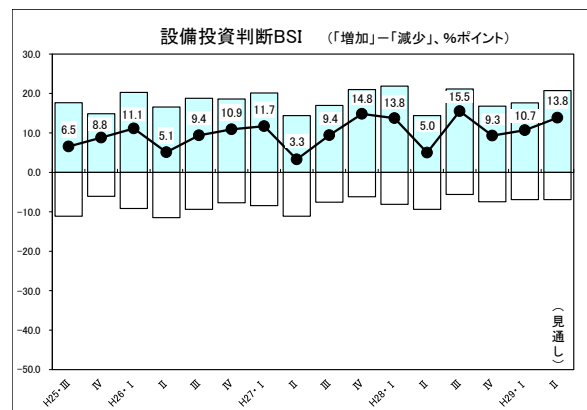
2 期ぶりに上昇し、来期も上昇の見通し。

＜今期実績(平成 29 年 1～3 月期)＞

今期の設備投資 BSI は、製造業が 8.4、非製造業が 13.2、全産業では 10.7 となり、前期実績を 1.4 ポイント上回った。前年同期実績に対しては 3.1 ポイント下回る水準である。

＜来期見通し(平成 29 年 4～6 月期)＞

来期の設備投資の見通し BSI は、製造業が 15.7、非製造業が 11.8、全産業では 13.8 となり、今期実績の 10.7 を 3.1 ポイント上回る見通しである。



業種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	0.9	△9.1	7.3	13.3
食料品	△5.6	△25.0	23.5	17.2
繊維製品	0.0	△11.1	9.1	△3.4
木材・木製品	0.0	△14.3	△42.9	△14.3
化学工業・石油製品	△16.7	0.0	16.7	16.7
金属製品	10.0	10.0	20.0	70.0
機械器具	△15.9	△7.6	0.0	25.8
輸送用機械器具	80.0	80.0	△60.0	0.0
その他	0.8	△34.9	25.1	△10.6
非製造業	2.1	3.2	△1.4	4.1
建設業	7.1	28.5	△7.1	0.0
卸売業	△12.4	△6.5	11.1	4.6
小売業	△8.0	△18.2	5.5	16.7
運輸業	12.5	20.0	△12.5	20.8
サービス業 その他	17.2	5.5	△11.1	△13.9
合計	1.4	△3.1	3.1	8.8

【設備投資目的】

1 位「維持更新」44.2%、2 位「合理化・省力・省エネ・技術開発」20.9%、3 位「能力増強」19.8%、4 位「その他」10.5%、5 位「新製品・新規事業」4.7%。

9. 雇用状況判断 BSI

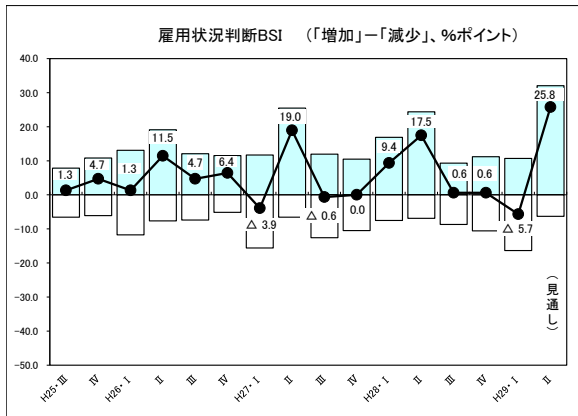
2期ぶりに低下も、来期は上昇の見通し。

＜今期実績(平成29年1～3月期)＞

今期の雇用状況 BSI は、製造業が△10.8、非製造業が0.0、全産業では△5.7となり、前期実績の0.6を6.3ポイント下回った。前年同期実績の9.4に対しては15.1ポイント下回る水準である。

＜来期見通し(平成29年4～6月期)＞

来期の雇用状況見通し BSI は、製造業が30.1、非製造業が21.1、全産業では25.8となり、今期実績の△5.7を31.5ポイント上回り、指数自体も2期ぶりのプラス指数となる見通しである。



業種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	△ 10.8	△ 25.8	40.9	13.0
食料品	△ 40.5	△ 54.4	47.0	11.3
繊維製品	△ 42.0	△ 54.5	54.5	△ 12.5
木材・木製品	△ 14.3	△ 42.9	42.9	28.6
化学工業・石油製品	0.0	△ 16.7	50.0	△ 9.6
金属製品	10.0	△ 10.0	30.0	30.0
機械器具	0.0	0.0	45.5	45.5
輸送用機械器具	△ 20.0	△ 20.0	80.0	20.0
その他	25.9	△ 2.6	12.5	1.9
非製造業	△ 1.2	△ 3.8	21.1	3.2
建設業	7.1	0.0	△ 7.1	△ 7.1
卸売業	5.2	△ 6.5	11.1	△ 7.2
小売業	12.6	△ 10.4	16.7	0.0
運輸業	0.0	17.5	△ 12.5	△ 13.9
サービス業 その他	△ 31.7	△ 11.1	72.3	30.6
合計	△ 6.3	△ 15.1	31.5	8.3

10. 採算判断 BSI

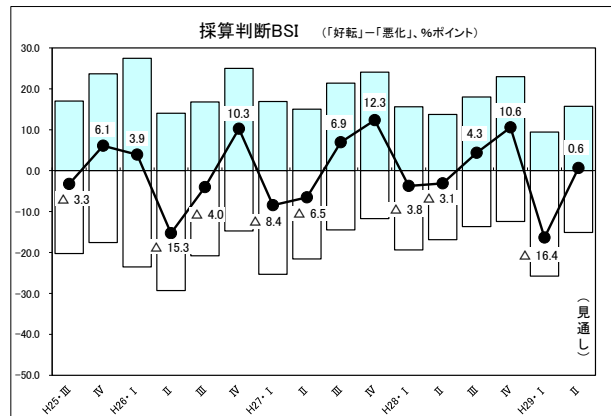
4期ぶりに低下も、来期は上昇の見通し。

＜今期実績(平成29年1～3月期)＞

今期の採算 BSI は、製造業が△20.5、非製造業が△11.8、全産業では△16.4となり、前期実績の10.6を27.0ポイント下回った。前年同期実績の△3.8に対しては12.6ポイント下回る水準である。

＜来期見通し(平成29年4～6月期)＞

来期の採算見通し BSI は、製造業が△1.2、非製造業が2.6、全産業では0.6となり、今期実績の△16.4を17.0ポイント上回り、指数自体も2期ぶりのプラス指数となる見通しである。



業種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	△ 36.8	△ 11.7	19.3	4.9
食料品	△ 69.3	△ 22.1	64.7	11.3
繊維製品	△ 18.2	4.0	18.2	0.0
木材・木製品	△ 57.2	△ 14.3	28.6	28.6
化学工業・石油製品	△ 16.6	△ 19.0	16.6	△ 31.0
金属製品	0.0	0.0	△ 50.0	△ 20.0
機械器具	△ 26.5	△ 18.2	27.3	25.8
輸送用機械器具	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	△ 55.4	△ 12.5	12.5	5.9
非製造業	△ 16.7	△ 13.1	14.4	2.6
建設業	0.0	7.1	△ 7.1	0.0
卸売業	△ 22.6	△ 40.2	22.3	5.6
小売業	△ 32.9	△ 10.4	11.2	16.7
運輸業	12.5	△ 12.5	△ 12.5	19.4
サービス業 その他	△ 17.8	△ 5.6	38.9	△ 18.9
合計	△ 27.0	△ 12.6	17.0	3.7

(集計結果)

項目別BSIの全集計結果

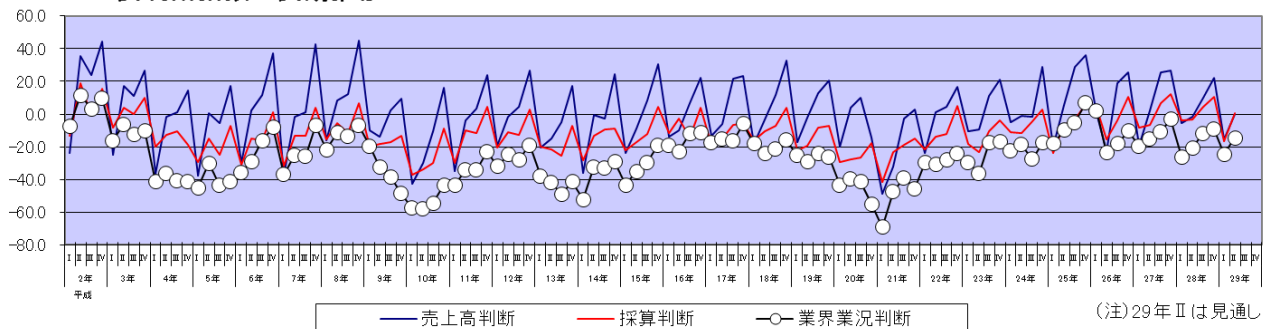
■ 今期(平成29年1~3月期) 企業経営動向実績(BSI)

業種/項目	受注高	生産高	売上高	在庫高	資金繰り	銀行借入	設備投資	雇用	採算	業界業況
製造業	△ 22.9	△ 19.3	△ 25.3	△ 7.2	△ 8.4	△ 12.0	8.4	△ 10.8	△ 20.5	△ 30.1
1. 食料品	△ 47.1	△ 58.8	△ 64.7	△ 17.6	△ 11.8	△ 17.6	0.0	△ 29.4	△ 47.1	△ 47.1
2. 繊維製品	0.0	△ 9.1	△ 36.4	△ 9.1	△ 9.1	△ 36.4	0.0	△ 54.5	△ 18.2	△ 63.6
3. 木材・木製品	△ 14.3	△ 14.3	△ 28.6	0.0	△ 42.9	△ 14.3	28.6	△ 14.3	△ 14.3	△ 42.9
4. 化学工業・石油製品	△ 33.3	△ 33.3	△ 33.3	0.0	16.7	△ 16.7	0.0	△ 16.7	△ 33.3	0.0
5. 金属製品	0.0	0.0	10.0	△ 10.0	20.0	10.0	20.0	20.0	10.0	0.0
6. 機械器具	△ 27.3	18.2	18.2	△ 18.2	△ 18.2	△ 9.1	9.1	0.0	△ 18.2	△ 18.2
7. 輸送用機械器具	△ 20.0	△ 20.0	△ 20.0	20.0	△ 40.0	0.0	60.0	△ 20.0	△ 20.0	△ 20.0
8. その他	△ 25.0	△ 18.8	△ 25.0	0.0	0.0	△ 6.3	△ 6.3	18.8	△ 12.5	△ 25.0
うち 紙・紙製品	0.0	0.0	0.0	△ 50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	△ 50.0	0.0
うち 窯業・土石製品	△ 50.0	0.0	△ 50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 100.0	△ 50.0
非製造業	-	-	△ 5.3	△ 5.3	2.6	△ 1.3	13.2	0.0	△ 11.8	△ 18.4
9. 建設業	-	-	35.7	△ 14.3	7.1	14.3	21.4	21.4	7.1	14.3
[卸・小売業 計]	-	-	△ 13.9	0.0	8.3	0.0	8.3	2.8	△ 11.1	△ 19.4
10. 卸売業	-	-	△ 27.8	△ 16.7	11.1	△ 5.6	11.1	11.1	△ 16.7	△ 22.2
11. 小売業	-	-	0.0	16.7	5.6	5.6	5.6	△ 5.6	△ 5.6	△ 16.7
12. 運輸業	-	-	△ 25.0	0.0	0.0	△ 25.0	0.0	△ 12.5	△ 12.5	△ 50.0
13. サービス業 その他	-	-	△ 11.1	△ 11.1	△ 11.1	△ 5.6	22.2	△ 16.7	△ 27.8	△ 27.8
合計	△ 22.9	△ 19.3	△ 15.7	△ 6.3	△ 3.1	△ 6.9	10.7	△ 5.7	△ 16.4	△ 24.5

■ 来期(平成29年4~6月期) 企業経営動向見通し(BSI)

業種/項目	受注高	生産高	売上高	在庫高	資金繰り	銀行借入	設備投資	雇用	採算	業界業況
製造業	3.6	6.0	3.6	2.4	4.8	0.0	15.7	30.1	△ 1.2	△ 20.5
1. 食料品	47.1	52.9	52.9	29.4	11.8	5.9	23.5	17.6	17.6	△ 11.8
2. 繊維製品	△ 9.1	9.1	△ 18.2	18.2	△ 9.1	36.4	9.1	0.0	0.0	△ 36.4
3. 木材・木製品	△ 28.6	△ 14.3	△ 14.3	0.0	28.6	△ 57.1	△ 14.3	28.6	14.3	△ 42.9
4. 化学工業・石油製品	16.7	33.3	33.3	△ 16.7	0.0	0.0	16.7	33.3	△ 16.7	0.0
5. 金属製品	△ 30.0	△ 40.0	△ 30.0	0.0	0.0	△ 10.0	40.0	50.0	△ 40.0	△ 10.0
6. 機械器具	0.0	△ 18.2	△ 18.2	9.1	18.2	△ 18.2	9.1	45.5	9.1	△ 9.1
7. 輸送用機械器具	0.0	0.0	0.0	△ 20.0	0.0	△ 20.0	0.0	60.0	△ 20.0	△ 40.0
8. その他	0.0	0.0	0.0	△ 25.0	△ 6.3	18.8	18.8	31.3	0.0	△ 25.0
うち 紙・紙製品	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0
うち 窯業・土石製品	50.0	0.0	50.0	△ 50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	△ 50.0
非製造業	-	-	△ 3.9	3.9	3.9	△ 5.3	11.8	21.1	2.6	△ 7.9
9. 建設業	-	-	△ 28.6	7.1	21.4	△ 7.1	14.3	14.3	0.0	0.0
[卸・小売業 計]	-	-	0.0	2.8	0.0	△ 2.8	16.7	16.7	5.6	△ 8.3
10. 卸売業	-	-	11.1	27.8	△ 5.6	5.6	22.2	22.2	5.6	△ 11.1
11. 小売業	-	-	△ 11.1	△ 22.2	5.6	△ 11.1	11.1	11.1	5.6	△ 5.6
12. 運輸業	-	-	△ 25.0	0.0	△ 25.0	12.5	△ 12.5	△ 25.0	△ 25.0	△ 50.0
13. サービス業 その他	-	-	16.7	5.6	11.1	△ 16.7	11.1	55.6	11.1	5.6
合計	3.6	6.0	0.0	3.1	4.4	△ 2.5	13.8	25.8	0.6	△ 14.5

■ 主要判断指数の長期推移



II. 経営上の問題点

1位は「求人難」の22.3%であった。当競争」の13.2%、5位は「製品（販売）」の11.0%、6位は「原材料（仕入）」の10.7%、7位は「賃金上昇」の8.8%であった。

「求人難」は8期連続の1位である。2位は「販売（受注）不振」の14.0%、3位は「設備老朽化」の13.8%、4位は「過

「経営上の問題点」の推移

平成28年/4～6月期			平成28年/7～9月期			平成28年/10～12月期			平成29年/1～3月期		
順位	項目	構成比	順位	項目	構成比	順位	項目	構成比	順位	項目	構成比
1	求人難	17.3%	1	求人難	18.7%	1	求人難	20.0%	1	求人難	22.3%
1	販売（受注）不振	17.3%	2	設備老朽化	15.4%	2	販売（受注）不振	15.6%	2	販売（受注）不振	14.0%
3	設備老朽化	16.4%	3	過当競争	15.1%	3	設備老朽化	15.3%	3	設備老朽化	13.8%
4	過当競争	13.9%	4	販売（受注）不振	14.8%	3	過当競争	15.3%	4	過当競争	13.2%
4	製品（販売）安	13.9%	5	製品（販売）安	13.0%	5	製品（販売）安	12.1%	5	製品（販売）安	11.0%
6	賃金上昇	7.1%	6	賃金上昇	8.2%	6	原材料（仕入）高	10.0%	6	原材料（仕入）高	10.7%
7	原材料（仕入）高	6.8%	7	原材料（仕入）高	7.9%	7	賃金上昇	6.5%	7	賃金上昇	8.8%
8	その他	2.5%	8	環境対応	2.4%	8	環境対応	1.5%	8	環境対応	2.2%
9	環境対応	1.5%	9	その他	2.1%	8	設備不足	1.5%	8	その他	2.2%
10	設備不足	0.9%	10	設備不足	0.9%	10	その他	0.9%	10	金利負担増	0.8%
10	回収条件の悪化	0.9%	11	回収条件の悪化	0.6%	10	回収条件の悪化	0.9%	11	設備不足	0.3%
10	借入れ難	0.9%	11	借入れ難	0.6%	12	金利負担増	0.6%	11	回収条件の悪化	0.3%
13	金利負担増	0.6%	13	金利負担増	0.3%	13	借入れ難	0.0%	11	借入れ難	0.3%
14	設備過剰	0.0%	14	設備過剰	0.0%	13	設備過剰	0.0%	14	設備過剰	0.0%

企業経営動向調査概要

- ① 調査時期：平成29年3月8日～4月4日
(毎年3・6・9・12月実施)
- ② 調査事項：受注高、生産高、売上高、在庫高、資金繰り、銀行借入、設備投資、雇用、採算、業界業況の各項目別BSI、売上高の増加・減少要因、設備投資目的、経営上の問題点
- ③ 調査方法：景況感についての調査
前期（平成28年10～12月）と比較した今期（平成29年1～3月）の実績及び今期（平成29年1～3月）と比較した来期（平成29年4～6月）の見通しを調査。
- ④ 調査対象：県内に本社または主工場を持つ主要企業253社
- ⑤ 有効回答率：62.8%（有効回答数159社）

業種別回答数及び構成比

業種	回答社数	構成比
製造業	83	52.2%
食料品	17	10.7%
繊維製品	11	6.9%
木材・木製品	7	4.4%
化学工業・石油製品	6	3.8%
金属製品	10	6.3%
機械器具	11	6.9%
輸送用機械器具	5	3.1%
その他	16	10.1%
非製造業	76	47.8%
建設業	14	8.8%
卸売業	18	11.3%
小売業	18	11.3%
運輸業	8	5.0%
サービス業 その他	18	11.3%
合計	159	100.0%

(一般財団法人 百十四経済研究所 高木・後藤・中野)